学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	生活クラフト	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活クラフトでは、身近な生活で使うことのできる物の機能性と意匠性を考えて制作します。陶芸や木工作品、食品サンプルなどを制作します。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深くかかわる資質・能力を育成することをめざす。

【知識及び技能】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表せることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
造形的なよさや美しさ、表現の糸と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方やかんじかたを深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に美術の造形的な諸活動に取り組み、生涯に美術を愛好する心情をはぐくむとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫し造形的に表している	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている	・美術や美術文化と豊かにかかわり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	木彫	「木のスプーンとフォーク」 糸鋸の使い方 スプーンとフォークの制作	a:糸鋸や刃物など道具の使い方を理解している b:機能性を考えてスプーンとフォークの形を作ることができる c:ワークシートに理解したことを記入することができる	道具の使い方があっているか	作品	ワークシート
	食品サンプル	「食品サンプル」 紙粘土等で食品サンプルを制作する	b:食品を模倣して作品を制作できる c:作品を完成させることができる		作品	作品
後期	陶芸	「器・コップ」 たたらづくりでお皿や器を制作する 紐づくりでコップや器を制作する	a:たたらづくり、紐づくりを理解して作品を制作することができる b:実用的な形を想像し制作することができる c:作品を完成させることができる	作品	作品	作品
	羊毛フェルト	「オーナメント」 クリスマス等のオーナメントを羊毛フェルトで制作する	b:羊毛フェルトという素材の特性を理解し、作品制作することができる c:丁寧に作品を完成させることができる		作品	作品
	カゴ編み	「カゴ」 クラフトバンドを使ったカゴ編み	b:完成のカゴの形をイメージしてカゴを編んでいくことができる c:作品を完成させることができる		作品	作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度